

新春特別企画／辰年生まれ大集合

カメラさんぽ／「まちの写真館」で振り返る 2011 年

町政スポット／町議会 12 月定例会、町内産りんごの輸出事業 ほか

まちの話題 自然観スキー場開き、あさひ保育園クリスマス会 ほか

迎春

越冬する白鳥 朝日町で新年を迎える

(12月21日／上郷ダム)

広報

あさひまち

2012年 1 月号

No. 662



## 「感謝」と「感動」

# そして「躍動」の町づくり

朝日町長 鈴木浩幸

新年あけましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられましたこと、心からお喜び申し上げます。

新しい年を迎えられた喜び。それにも増して、迎えられた事に対する感謝の気持ち。そんな思いが込み上げてくる年の初めであります。

命の尊さ。生きていくことへの感謝。様々な思いが交錯し続けた「絆の年」が幕を閉じ、純白無垢な「辰の年」が一斉に世界中を駆け巡り、新しい扉を開けました。

自然の脅威を目の当たりに見せ付けられ、その前にただ呆然と立ち尽くせざるを得なかった私たち人間は、あるいは巨大な自然の前に無力な者かもしれません。しかし人間は、それでもひた向きに、前向きに進んで行こうとする意志と力を持っています。そしていつまでも立ち止まっている者ではないということを実感させられたのも事実であります。多くの人々のボランティア。人の優しさ、温かさ。人は一人では生きていけない。私たち人間は多くの人々の支え

があって初めて生きていける存在なのです。確かに一人の人間の力は小さなものかもしれませんが、しかしその一人ひとりの小さな力は私たちに勇気を与え、感謝の気持ちを抱かせ、そして感動を与えてくれるのです。

震災直後の卒業式。体育館一杯に響く子どもたちの元気な歌声。その歌声を聞いた瞬間、私は深い感動に包まれ、忘れかけていた希望の光と、明日への勇気をいただいた思いがしました。いろいろな場面で出会う、こうした子どもたちの一生懸命な熱い思いに触れる度、私は大きな感動と感謝の気持ちで一杯になります。

この子どもたちからいただいた、「希望の光」と「明日への勇気」を胸に、感謝の気持ちと感動があふれ、誰もが活き活きと光り輝く躍動の町づくりに全力で取り組んでまいります。

今年も皆様にとりまして、明るく、楽しく、健康で、幸せ多い一年でありますよう、心からご祈念申し上げます、年頭のあいさつといたします。

# 新年

# あいさつ

# 謹賀

## 年頭のご



### 町民の皆様と一緒に歩む

### 議会をめざして

朝日町議会議長 長岡啓治

あけましておめでとうございます。町民の皆様には健やかな新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は3月に東日本大震災に見舞われ、その影響による福島第一原発の事故は未曾有の大惨事となりました。警察庁のまとめによると、犠牲者・行方不明者は12月16日現在で1万9323人にのぼり、今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされています。被災された皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。

また、経済面ではリーマンショックの疲弊が残る中、ギリシャを発端とする欧州諸国の財政赤字問題が浮上し、世界中に大きな影を落としています。これが一因となり、日本では円高が進行。国内産業は多大な打撃を受けました。

さらに、政府は国内世論が熟さないうまま、TPP交渉参加を表明しました。これについては政府内でも賛否が分かれ、情勢もいまだ混沌としています。今後の動向によっては当町にも

大きな影響を及ぼしかねません。議会としても今後情勢を注視していく所存であります。

さて、町では現在、第五次総合発展計画の実現に向け、着実に施策を展開しております。産業振興、福祉の充実、結婚対策等総合的な対応が熱望されるなか、昨年は保育園の民営化、宮宿小学校体育館の改築、地元を基盤とした起業支援と様々な政策が実行されました。

そんな中、昨年は町議会でも初の取り組みとして「議会報告会」を開催し、多くの方々から様々なご提言・ご意見を賜りました。これらの意見を政策に結びつけ、町民の皆様が住んで良かったと実感できる町をめざして、誠心誠意その役割を果たす所存であります。今後とも町民の皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年も明るく・楽しく・元気に過ごすことができる年でありませう心から願うとともに、皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

# 新春特別企画

# 辰年生まれ大集合

今年は、十二支の中では5番目にあたる辰年です。

12月20日現在で、朝日町に住む辰年生まれの方は合計で667人。その内訳は、平成12年生まれ51人、昭和63年生まれ76人、昭和51年生まれ72人、昭和39年生まれ101人、昭和27年生まれ139人、昭和15年生まれ111人、昭和3年生まれ102人、大正5年生まれ15人となっています。

今回の企画では、それぞれの年代を代表した6人に、新年の抱負を語っていただきました。



## 少年野球のキャプテンとして、チームをまとめる

平成12年生まれ ■■■▶ <sup>りゅういちろう</sup>千葉 隆一朗くん (緑町)

町の少年野球チーム「朝日サンフラワーズ」の次期キャプテンになることが決まっています。今年6年生になる同級生は3人だけですが、力を合わせてチームをまとめていきたいと思います。去年はあまり勝てなかったので、今年はぜひ勝ってみんなで野球の楽しさを味わいたいです。

学校では、体育、特に持久走をがんばりたいです。去年勝てなかった友達に今年は必ず勝ち、1位になりたいと思います。あと、宮宿小学校ではもうすぐ新しい体育館が完成します。広くなった体育館で思う存分遊びたいです。



## 健康な体の第一歩は食生活 歯は健康の基本

昭和15年生まれ ■■■▶ 長岡 毅さん (大谷三)

30代の頃、歯医者さんに指導されたのを機に、長年電動歯ブラシで熱心に歯を磨いています。その甲斐あってか、この年になっても、全部自前の歯です。健康な体の第一歩は食生活にあり、歯はそのための基本と言えます。今後も未永く自分の歯を大切にしていきたいです。

歯以外でも、私はどちらかと言えば健康に気を使っている方かもしれません。おかげさまで今でも薬いらずの体で、田んぼやシルバー人材センターで日々楽しく働いています。今年も健康第一で、家庭円満に暮らしたいですね。





## 友人と桜満開の京都に出かけたい

昭和 63 年生まれ ■▶ <sup>みゆき</sup> 近衛 幸さん (大隅)

栄養士の資格を生かし、給食センターの仕事に就いてからもうすぐ丸3年。会社では後輩もでき、教えられる側から教える側へと徐々に立場が変わってきました。お弁当販売などのノルマも、今までは達成すれば満足の状態でしたが、今後はさらに数字を伸ばせるようがんばりたいと思います。

プライベート面では、お金をためて友達と旅行に出かけたいですね。定番のディズニーランドや桜満開の京都もいいかな…。ほかに、女子会でおしゃべりしたり…。20代の今しかできない楽しみを満喫したいと思います。



## スーパーを定年退職 第二の人生を楽しむ

昭和 27 年生まれ ■▶ 岡崎 兼一さん (下芦沢)

高校卒業後、約42年間務めた町内のスーパーをこの春定年退職します。思い返せば、まとまった休みも少なく慌ただしい毎日でしたが、今の社会で60歳まで勤めることができたのは本当に幸せなことです。居心地良く仕事させていただいた職場の同僚には、心から感謝しています。

4月からは第二の人生が始まります。これまであまり協力できなかった地区内の行事などにも今後は積極的に参加し、地区の皆さんに恩返ししたいと思います。長年興味のあった「庭作り」にも本格的に取り組んでみたいですね。



## 久々に、趣味の渓流釣りに出かけてみたい…

昭和 39 年生まれ ■▶ 佐竹 健さん (常盤)

前年男だった12年前は、西暦1999年から2000年に変わる節目の年で、コンピューター等の「2000年問題」が心配されていました。今となっては、無用の心配でしたが、当時は万が一に備えて勤務先に待機し、その場で新年を迎えたのを覚えています。その点、昨年は東日本大震災や記録的な豪雨災害があり、あらためて「備え」の重要性を感じましたね。

上は高校生から下は保育園児まで、まだまだ子育ての真っ最中ですが、今年は時間を作り、久々に趣味の渓流釣りに出かけてみたいと思います。

## 今しかできない子育てを楽しみたい

昭和 51 年生まれ ■▶ <sup>もとぎ</sup> 堀 幹樹さん (大谷七)

結婚してもうすぐ8年。おかげさまで、3人の子どもに恵まれました。妻の仕事が昼夜交代制で休日も不規則のため、週末の育児は主に私が担当。毎週てんやわんやの状態です。

正直、自分の時間はほとんどありませんが、3人の子どもたちとにぎやかに暮らす自分は幸せ者です。妻や父母に感謝するとともに、今後子どもたちといっぱい遊んで、今しかできない子育てを楽しみたいと思います。去年は震災等もあり遠出を控えていた分、今年は旅行にでも出かけたいですね。



【左から】雪菜ちゃん(6)、直太朗くん(3)、明凜ちゃん(1)

4月



### 新体制で新年度を迎える あさひ保育園入園式

平成23年4月1日から「社会福祉法人あさひ会」に運営が委託されたあさひ保育園で同2日、入園式が行われました。

5月



### 珍しい天体ショーに目が釘付け

5月3日、空に水平の虹（環水平アーチ）と大きなリング（日暈）が発生し、多くの人々の目がくぎ付けとなりました。

6月



### モンテディオあさひ応援隊が発足

モンテディオ山形の町民サポーターによる「モンテディオあさひ応援隊」が6月7日、設立総会をもって結成されました。



### 町内3小学校、朝日中学校で入学式

宮宿小学校では現在体育館を改修中。この体育館で行われる入学式は4月7日に行われたが最後となりました。



### セヶ浜町へ復旧支援ボランティア

町は5月から6月にかけて延べ29日間、セヶ浜町に町民ボランティアと町職員を派遣し、震災の復旧を支援しました。



### 登山シーズン到来!朝日連峰夏山開き

朝日連峰に登山シーズンの到来を告げる夏山開きの式典が6月19日、朝日連峰の鳥原山にある朝日嶽神社で行われました。

町ホームページにある「まちの写真館」では、町内のタイムリーなニュースや、季節ごとの自然風景、そのほか昔ながらの伝統文化など、町内の様々な話題を取り上げ、たくさんの写真で紹介しています。

今回は2011年に紹介した70件の中から24件をピックアップ。町の1年を振り返ります。（「まちの写真館」はバックナンバーもすべてご覧になれますので、ぜひご覧ください）

10月



### 中沢・玉ノ井が初優勝 町民アップル駅伝

町の秋の風物詩「町民アップル駅伝競走大会」が10月9日開催され、中沢・玉ノ井チームが初優勝しました。

11月



### 晩秋の風物詩—最上川の朝霧

秋の深まりとともに、町内の最上川河岸地域に現れる朝霧。一帯が白く包まれる光景は、晩秋の風物詩と言えます。

12月



### 懐かしの「わらつと納豆づくり」に挑戦

昔ながらの「わらつと納豆」を作る講座が12月3日、西部公民館館で開催されました。



### 歌謡曲「浮島伝説」が誕生、CDに

宮城県の民謡歌手、平たか子さんが「浮島伝説」という新曲の奉納とヒット祈願のため、10月18日大沼の浮島を訪れました。



### 来場者は過去最多の11,000人 町産業まつり

第32回町産業まつりが11月19日と20日の両日、町民体育館を主会場に開催され、過去最多の11,000人が来場しました。



### クリスマス子どものつどい

クリスマスを2週間後に控えた12月10日・11日の週末、創遊館ではクリスマスに関連する多彩な催しが行われました。

1月



### 5年ぶりに「豪雪対策本部」を設置

1月17日午前8時、宮宿地区の積雪量が90cmに達したことを受け、町では同日午前9時に豪雪対策本部を設置しました。

2月



### あさひ保育園で豆まき

節分の2月3日、あさひ保育園の豆まきにお伺いし、地元の小売店の方が扮する鬼と園児のやり取りを取材しました。

3月



### 宮城県七ヶ浜町に救援物資を届ける

東日本大震災で被災した宮城県七ヶ浜町に対し、町は3月17日、救援物資として水1.8トンとコメ480キロを届けました。



### 潜入！日本酒の仕込み作業

新酒の仕込みのピークを迎えている鈴木酒造（大町）に、1月28日町広報のカメラが潜入。作業の様子を取材しました。



### 朝日町にもタイガーマスク運動が波及？

タイガーマスク運動に沸いた1月。その流れからか、2月8日近江屋商店（本町）に、25枚の手作りカードが届きました。



### 救援物資の受付にボランティアが協力

震災後はたくさんの救援物資が寄せられましたが、その受付や仕分けには多く町民の方々から協力していただきました。



## 朝日町ホームページ内「まちの写真館」で振り返る

# 2011年

7月



### 中学生記者も活躍「キャリア・スタート・ウィーク」

朝日中の2年生による職場体験学習「キャリア・スタート・ウィーク」が7月4日から8日まで5日間の日程で行われました。

8月



### 2年ぶりにロゼ部門日本一！ 国産ワインコンクール

「2010朝日町ワイン ロゼ 中口」がロゼ部門の最優秀カテゴリー賞を受賞したほか、朝日町ワインから7銘柄が入賞しました。

9月



### 真夏の暑さ 第32回朝日町ワインまつり

最高気温34度を記録（山形市）し、真夏のような暑さとなった9月18日、町ワインまつりが創遊館芝生広場で開催されました。



### Asahi 自然観に「冷やし足湯」が登場

Asahi 自然観では7月中旬、施設近くに湧き出る「わさび沢水」を利用した「冷やし足湯」コーナーを設置しました。



### 真夏の再会 平成23年朝日町成人式

東日本大震災の影響で4月29日から延期されていた町成人式が8月14日、創遊館で開催されました。



### 「すこやか出産祝品支給事業」を新設

町では、今年4月以降に子どもが誕生した家庭に、町内商店や企業の商品を贈る標記事業を今年度新設しました。

# 議 会

## 町議会 12月定例会

12月6日から8日まで3日間の日程で、町議会12月定例会が開催されました。

議案は平成23年度町一般会計及び各種特別会計補正予算など8件。審議の結果、全議案が可決・承認されました。

### 今年新たにフィリピンも

#### 町内産りんごの海外輸出事業

平成16年度から実施している町内産りんごの輸出事業について、町は今年度、シナノスイート、シナノゴールド、王林、ふじの4品種を台湾、タイ、シンガポール、そして新たにフィリピンに

対し輸出しました。 については、12月中旬までに町職員らが現地に足を運び、試食販売等のPR活動を実施しています。タイを訪れた町産業振興課の川口幸男課長は「洪水で避難していた日本人も戻り始め、バンコク市内は活気に満ち

対し輸出しました。 出荷量については、放射能の風評被害やタイの洪水等の影響もあり、昨年より16トン少ない20トン程度。台湾、タイ、シンガポール

ていた。りんごの販売も好調で、特に40、46玉の小玉の人氣が高い。日本人や富裕層など、町のりんごのリーダーは確実に増えている。タイは魅力的なマーケット。農家所得の向上のため、量をさらに拡大させていきたい」と感触を話していました。



バンコク市内の高級百貨店で展開された町内産りんごのPR活動(12月11日)

なお、町ではりんごのほか、ラフランスについても昨年度から輸出を行い、今年度はシンガポールとフィリピンに約1トンを出荷しました。

### 町政報告

#### ■平成23年度職員採用試験

10月13日に二次試験を実施し、一般行政職4人の採用を内定した。

#### ■人体に影響のある数値は計測されず―各施設の放射能測定

7月より毎月2回、小・中学校で定期的に測定している。11月8日には小・中学校に加え、保育園、放課後児童クラブ「りんごっこ」の周辺も詳細に測定。結果、人体に影響を与える数値は計測されなかった。

#### ■役場庁舎及び開発センターの耐震診断

10月25日、委託業者から受けた報告によれば、「地震の震動及び衝撃に対し、倒壊または崩壊する危険性が高く、補強の必要がある」との判定結果。今後、補強工事等の耐震化を推進していく。

#### ■高齢者生産活動センター・開発センターに各種機器を整備

県の「地域支え合い体制づくり補助事業」を活用した高齢者の活動拠点整備として、高齢者生産活動センターと開発センターにカラオケ、テレビ、発電機を配備した。

#### ■「ふじ」の収穫量が激減

今年のりんごについては、昨年の高温と雪害等の影響により

収穫量が少なく、特に「ふじ」については例年比3〜4割減となっている。単価は2割程度高く推移しているが、全体の生産額は減少。厳しい状況となった。

#### ■水稲は順調な生育状況

今年順調に推移し、11月28日現在で1等米比率93・8%、出荷量前年比103・6%になっている。

昨年取り組んでいる人工衛星を使った食味調査を今年度も実施。従来の良食味の「はえぬき」に今年度から「つや姫」も加え、「あさひ清流美人」として販売している。

#### ■りんごキャンペーン

11月15・16日に仙台市で、

# 寄付採納報告

善意に感謝申し上げます

- ■金員 200,000 円  
まちづくり寄付金として  
松程 菊地 宏幸 様より
  - ■金員 500,000 円  
まちづくり寄付金として  
西船渡 大類 秀憲 様より
  - ■金員 20,000 円  
まちづくり寄付金として  
太郎一 村山 昭榮 様より
  - ■金員 100,000 円  
まちづくり寄付金として  
寒河江市 日東ベスト株式会社 様より
  - ■金員 10,000 円  
ふるさと納税寄付金として  
千葉県柏市 遠藤 美和子 様より
  - ■金員 50,000 円  
ふるさと納税寄付金として  
京都市 田中 照子 様より
  - ■児童図書 70 冊 (122,607 円相当)  
西五百川小学校教育振興のため  
常盤 阿部 宗一郎 様より
  - ■児童図書 1 セット (18,200 円相当)  
大谷小学校教育振興のため  
札幌市 遠藤 一男 様より
  - ■風景画 1 点 (500,000 円相当)  
宮宿小学校教育振興のため  
寒河江市 安達 義美 様より
- このほか、匿名を希望する7人の方々よりふるさと納税として総額 15 万円の寄付を受けています。



山形銀行本店前で行われたキャンペーン (11月24日)

24・25日は山形銀行本店前(山形市)で、りんごを中心に町内特産品のPRと即売会を実施した。リピーターも含め、大勢の市民が訪れ、好評を得た。

**■町の経済に大きく寄与―持家住宅支援事業等**  
11月2日時点で、持家住宅建築助成金事業に60件、住宅リフォーム総合支援事業に32件の申請があった。事業費ベースで2億3900万円となっており、町の経済対策に大きく寄与している。

**■新規学卒者に奨励金**  
産業力向上による元気なまちづくりをめざし、平成23年4月に町内に就職した新規学卒者3人に対して、新規学卒就業者奨励金(一人3万円)を交付した。



施工中の「宇津野沢自然災害防止工事」 (12月19日撮影)

**■宇津野地内の墓地陥没による自然災害防止工事**  
7月3日に宇津野地内で発生した墓地陥没に伴い、宇津野沢の自然災害防止工事を実施中。工期は3月15日までの予定。

## 町にある文化財の説明板を更新

地域の宝への愛着を高めつつ、観光振興にも生かす

町教育委員会ではこのほど、町指定文化財の「若宮寺鐘楼」と「旧三分校」の説明板を設置しました。平成22年度以降、文化財看板の整備(更新)事業を進めている教育委員会。「文化財の価値や内容がわからない」といった声が数多く寄せられているほか、現在の看板が老朽化していることを受け行われているもので、22年度は「大隅遺跡」の標柱と説明板の更新が行われました。

説明板の整備は、地域の宝に対する住民の理解や愛着を深めるほか、町外からの来訪者に向けた情報提供手段として、観光面でも大きな効果が期待されます。教育委員会では、26年度まで本事業を計画。24年度は国指定重要文化財「佐竹家住宅(夏草)」、町指定文化財「水口十一面観音堂(常盤)」の看板更新を計画しています。

なお、説明板には、携帯電話で利用できるQRコードもつけられています。これを読み取ると、「あさひまちエコミュージアムケータイガイド」につながり、周辺のおすすりスポットや関連情報を得ることができるよう工夫されています。



このほど更新された町指定文化財「若宮寺鐘楼」の説明看板

# まちの話題



「☐ ホームページに写真」の表記があるものについては、町ホームページの「まちの写真館」コーナーで、多くの写真を紹介しています。ぜひご覧ください。

## Asahi 自然観スノーパークスキー場開き・安全祈願祭 (12月23日/現地)



Asahi 自然観スノーパークのスキー場開き・安全祈願祭が12月23日行われ、関係者約50人が、シーズン中の無事故とにぎわいを祈願しました。

約1週間前からの雪でこの日現在の積雪量は約60センチ。時折突風が吹く、荒れ模様の天候となりましたが、オープンを待ちわびたスキーヤー、スノーボーダーが朝早くから訪れ、親子で、仲間同士でシーズンインを喜び合いました。

家族で訪れていた阿部隆浩さん(夏草)は「子どもが自然観スキースポ少にお世話になっています。楽しく滑ることが第一ですが、今年は3月のバジジテストで資格をとることも目標。シーズン券を購入したので、たくさん足を運び、技術を教えたいです」と話していました。

年末年始は「年末カウントダウン宝探し大会(12/31)」「ニューイヤーもちつき大会(1/1)」なども開催。どうぞお問い合わせの上、お出かけください。

【ぜひご利用ください Asahi 自然観のリフト割引企画】

- ◎「スキーこどもの日」…毎月第1・第3・第5日曜日 小学生リフト1日無料開放
- ◎「レディースDAY」…毎月第2・第4土曜日 中学生以上女性リフト1日券500円
- ◎「シニアデー」…毎週月曜日(祝祭日除く) 55歳以上の方 リフト1日券1,000円

## あさひ保育園クリスマス会 (12月17日/創遊館)



あさひ保育園のクリスマス会が12月17日創遊館ホールで行われ、家族ら約400人が見守るなか、園児たちが日ごろの遊びや学びの成果を発表しました。

各年代や組ごとに歌や踊り、そして器械体操など様々な発表を披露。中でも最後の演目では、年長組園児が約半年をかけて訪ね歩いた町内の自然を写真で紹介したほか、友だちとの合唱、組み体操などを披露。これまで取り組んできた「おっきなしぜん」「やさしいところ」「がんばるゆうき」という3つのテーマの大切さを表現しました。

衣装を身にまとい、ステージで躍動する子どもや孫の姿に釘づけになる保護者たち。いつもと違うその姿を目にし、あらためて成長を実感している様子でした。

☐ ホームページに写真



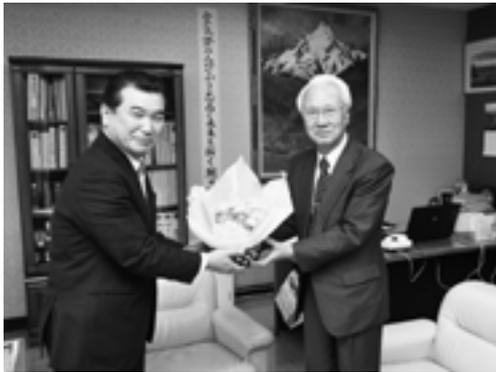
### 「浮島伝説」の歌手・平たか子さんが町を表敬訪問 (12月8日/役場町長室)

宮城県在住の民謡歌手・平たか子さんと作詞家の堀あかねさんが12月8日、大沼の浮島をテーマにした新曲「浮島伝説」のPRのため、鈴木町長を表敬訪問しました。

この曲は、数年前に堀さんが大沼を訪れた際、情景の美しさに感動

し、当時の思いをもとに作詞されたもの。平さんがこのほど発売したシングルCD「望郷馬喰節」のカップリング曲として使われています。

一般CD取扱店から注文できますので、興味のある方は、ぜひお買い求めください。



### 県トラック協会が町に菜種油を贈呈 (12月15日/役場町長室)

山形県トラック協会の武田忠一会長が12月15日鈴木町長を訪問し、水本地内で栽培された菜の花を元に作られた菜種油133kgを町に贈りました。

この油は今後、町内小学校で調理用として利用され、廃油は同協会が回収。協会はそれを元にBDF(バイオ

ディーゼル燃料)を精製し、会員に販売。その収益は町の子どもたちの教育費用に充てられることになっています。

現在町では、家庭の廃油も回収し、この取り組みに他方面から参加しています。ごみステーションに回収箱を置いていますので、ぜひご協力ください。



### カフェ蔵で米粉のピザ作り (12月17日/カフェ蔵)

米粉のピザ作り講座が12月17日、宮宿地内の「カフェ蔵」で行われ、小学生15人が参加しました。

これは、地域住民を対象にカフェ蔵が企画したもの。参加者はあらかじめ用意された生地をフライパンで加熱し、その上にソースと具をトッ

ピング。約1時間でパリパリのピザが完成しました。

参加した布施瑛梨さん(写真右=栄町)は「ピザを作ったのは初めてだったけど、思った以上においしかったです。また家で作ってみたいです」と笑顔で話していました。



### 租税教室で税の仕組みを学ぶ(12月19日/大谷小学校)

寒河江税務署と町が主催する租税教室が12月19日、大谷小学校で行われ、6年生13人が税の基礎知識を学びました。

講師は町税務町民課の職員が務め、子どもたちは消防やゴミ収集、除雪などを例に、税金の使われ方を

学習。そのほか、模擬紙幣で1億円の重さ(約10キロ)を体験しました。

身近な消費税以外にも様々な税があることを学んだ子どもたち。ある児童は「税金は世の中になくってはならないもの。大人になったらきちんと納めたい」と話していました。



### モンテディオ山形「ふれあいフィールド」(12月21日/あさひ保育園)

モンテディオ山形のサッカー教室「ふれあいフィールド」が12月21日、あさひ保育園で行われました。

この活動は同クラブによる社会貢献事業の一環で、サッカーやスポーツ全体の普及を目的に開催されているもの。対象は県内の幼稚園や保育

園、小学校で、今年度は5月から合計88回実施されています。

この日は普及担当コーチ3人が来訪。園児たちはボールを使って様々な遊びを楽しむとともに、元プロ選手の高い技術を目の当たりにし、モンテディオへの愛着を深めました。

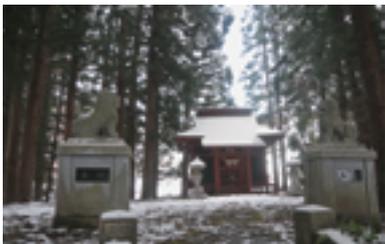
☐ ホームページに写真

# 2012年は辰年 和合堰を守る「龍神さま」

2012年は辰年。十二支中5番目の生き物である辰は、十二支の中で唯一の、空想上の生き物で、一般には「竜」と書き、「タツ」または「リュウ」と呼ばれています。

日本では、竜は神聖視されており、古代神話にも登場しています。また、竜は雲を呼び、雨を降らせる神として古くから信仰されており、各地に竜神・水神として残っています。

町内和合にある「水上神社」もその一つ。社殿入口にある「龍神」の文字がそれぞれを物語っています。この神社の創建は江戸時代の元禄年



和合地内にある竜神池（上）。右奥の杉林の中には水上神社（左）があり、その社殿入口には、「龍神」の文字が掲げられている（右）。神社は人々の暮らしを支えてきた和合堰の鎮守神として、永年にわたり崇められ、今なお地域住民の拠りどころとなっている

間（1688・1703）で、和合地内の水田を潤す「和合堰」の開削成功を感謝して建てられました。祭神はその後堰の鎮守神として祀られ、今に伝えられています。

「和合堰」は送橋地内の送橋川を起点とし、途中長いトンネルや水路橋を経て和合地内に至っています。水上神社のとなりには、この堰から水をひいている「龍神池」があり、両者は古くから灌漑用水に利用されてきました。

「和合地区」として、和合堰の水はまさに命の水。生活に欠かせないものなんだ。こう話すのは、永年指導農業士として町農業の振興に尽力された佐藤正道さん（宿）。というのも、この堰からもたらされる水の役割は現在、水田を潤すことだけではないからです。和合はりんごの産地として有名で

あけましておめでとう  
おめでとうございます

皆様にとって、今年がすばらしい年でありませう、広報委員一同心からご祈念申し上げます。



今年も、皆様に親しんでいただける広報紙となるよう、より一層紙面づくりに努力してまいりますので、ご指導とご鞭撻の程をよろしくお願いたします。

- 広報委員長 長岡 信悦（常 盤）
- 同副委員長 阿部 安彦（大谷 五）
- 広報委員 小林 重敏（大谷 五）
- 〃 布施 正徳（本 町）
- 〃 細谷 智美（宇津野）
- 〃 柴田さくら（四ノ沢）
- 〃 海野 淳（建設水道課）
- 〃 伊藤 由佳（教育文化課）
- 担当課長 清野 直治（政策推進課長）
- 担当係長 清野 雅英（地域情報係長）
- 担当 佐久間 淳（政策推進課）